

会 議 録

会議の名称	平成28年度第4回笠間市教育振興基本計画策定委員会 議事録		
開催日時	平成29年1月31日(火) 午後3時30分～午後5時00分		
開催場所	笠間市役所 行政棟 2階 庁議室	事務局	教育委員会学務課 総務G
会議の公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <非公開・一部公開とした場合の理由>	傍聴者数	0人
出席者	出席委員：渡邊洋子委員、志摩邦雄委員、梁瀬浩幸委員、藤岡理香委員、川崎幸良委員、井川省史委員、森田正男委員、木村友明委員、内田幸枝委員、安見珠子委員、田村和己委員、町田満委員、大月裕美委員、鷹松丈人委員、小田野恭子委員【15名】 事務局：6名		
議題	平成28年度第4回笠間市教育振興基本計画策定委員会		

議 事 (審議経過及び発言内容)

【配付資料】

- ・笠間市教育振興基本計画(原案)の市民に検討の概要及び各意見等に対する市(教育委員会)の考え方について(資料1)
- ・笠間市教育振興基本計画(案)(資料2)
- ・笠間市教育振興基本計画(案)修正予定箇所一覧(資料3)

1. 開会

2. 策定委員長あいさつ

3. 協議事項

(1)笠間市教育振興基本計画(原案)の市民に検討の概要及び各意見等に対する市(教育委員会)の考え方について

- ・事務局が資料1に基づいて説明を行った。

【質問・意見等】

委員：今回の計画の案の中で、4月1日から義務教育学校が開校するにあたり、全体的に文中の「小中学校」という表記を「小中義務教育学校」とした方が良いのではないか。今の段階になって指摘することになってしまい恐縮だが、パブリック・コメントの中で義務教育学校の話が出てきており、また公立学校などのいろいろな文書の中では「小中義務教育学校」という表記になってきているので。ただし表記を「小中義務教育学校」とする場合には、前後の文脈も考慮しなくてはならないため、今の状態のまま「小中学校」としておき、(実態として

は4月1日から開校するが)「義務教育学校」と付け加えないようにした方が良いのか。

事務局：学校教育法上でも「義務教育学校」というものが明確になっているという認識はあったが、見落としとしてしまっていた。内部で協議の上、統一見解を出し、変更があれば反映させたい。おそらく修正する方向になると思うが。

委員：資料1の3ページ、17番のところで、「市の考え方」の部分に「ティーム・ティーチング」と「習熟度別の授業」という文言が入っており、こちらも引き続き取り組んでいくのだと思うが、これから5年間の計画であることを考えると、「アクティブ・ラーニング」という言葉が入った方が良いのではないか。「子どもたちが学ぶ意欲に溢れるような『アクティブ・ラーニング』の授業」というように。

事務局：後の方で「ICT教育」や「アクティブ・ラーニング」という言葉を使っているので、今頂いた意見の内容を踏まえ、盛り込むような形で修正したいと思う。

委員：パブリック・コメントに対する回答は市のホームページで公開されるのか。

事務局：本日の委員の皆様からの意見を踏まえ、必要があれば修正するが、その後笠間市のホームページにおいて結果を公表していく流れとなっている。

委員：資料1の10ページ、57番のご意見の中で、義務教育学校が良くないのではないかとということになれば、また元の状態に戻る可能性を残すのか、というような記載がある。思わず「ゆとり教育」のことも連想してしまうが、このご意見からは、評価が出ていないときに周りの環境で義務教育学校をやめてしまうのか、という疑念を感じていらっしゃるように読み取れる。KPI等を元にして、方針が右往左往することなく、義務教育学校を進めるのだ、という書き方でも良いのではないか。「市の考え方」に「今後の取り組みを進めていく際の参考にさせていただきます。」とあるが、このご意見を参考にすると、今後方針が変わる可能性を残してしまう。私は残さなくて良いと思うのだが、この辺りは市の教育行政の考え方もあると思う。いかがだろうか。

事務局：計画書(案)の57ページにも、数値目標として「コミュニティ・スクール実践校数」、そして「小中一貫教育の推進状況」があり、どちらも市内全校、100%の実施を熱い思いを持って掲げているところである。今ご指摘頂いた部分については回答から削除をし、「数値目標を立てている」ということも入れ込みながら、「強く推進していく」というような表現に修正したいと思う。

委員：この「項目」という部分は質問者の方が打ってこられたものなのか。例えば資料1の2ページの12番に「就学前児童の教育の場の提供」とあるが、「就学前」であるのは「幼児」のことなので、言葉として適切ではないのではないかと。今後修正するのだろうか。

事務局：「項目」については、市民の皆様が書かれた部分もあるが、書かれていなかったご意見については、タイトル分けということではないが、本日提示する資料として分かりやすくするために事務局が付けている。ホームページ上で公開するにあたっては、資料1でいう「意見等の概要」と「市(教育委員会)の考え方(対応)」のみになっていくと思う。

委員：そうすると「項目」部分は公開しないのか。

事務局：元々市民の方から出されたものについては載せるが、そうでなかったものについては省くことになると思う。

委員：そうであれば、「就学前児童」というのは「幼児」という表現になる。「児童」は「小学生」のことを指すので。

委員：資料1の3ページ、「意見等の概要」のところで、「スポーツの場の提供」や「父子家庭、母子家庭への支援」というように、タイトルだけが入っており、その横に市の回答が並んで

いる箇所があるが、ここは他に具体的な表現等がなかったのだろうか。

事務局：タイトルだけであった。そこからこちらでくみ取り、回答をさせて頂いたような形である。

委員：ではこの部分は市の方で読み取ったポイントと理解して良いのだろうか。

委員長：その通りである。

委員：たびたび申し訳ない。資料2の44ページ、「主な取組」の「① 基礎・基本の定着の促進」のところでは「チーム・ティーチング」と記載があるが、一方で資料1の17番の中では「ティーム・ティーチング」となっている。これはどちらになるのだろうか。

事務局：「ティーム・ティーチング」になる。

(2) 笠間市教育振興基本計画(案)について

- ・事務局が資料2に基づいて説明を行った。

【質問・意見等】

委員：今の段階でここまでコメントして良いものか分からないが、参考までに。前回の委員会の際、施策と主な取組と指標の関連性についてもう一度全体的に見直して頂けるというお話だったと思うが、今回の施策と取組と指標を見て、気づいた点がいくつかあったのでお伝えしたい。先ほど、PDCAサイクルを使ってきちんと計画の進捗状況を確認していくということ、パブリック・コメントに対する市からの回答としても出されていたので、指標はそういう点においても大事になってくるのかなと思う。指標が定められていない項目もあったと思うが、定められない何かの理由があると思うので、指標が定められる項目と定められない項目がある理由や背景があれば、説明があった方が分かりやすいと思ったのが一点である。また、PDCAサイクルの中で、進捗を確認する際に指標がないときはどうやって確認するのか、というようなこともどこかに付け加えた方がいいのではないかと。

細かいところでは、目次に「第4章 基本計画」と記載されているが、結局はこの計画は全てが基本計画となるので、第4章は「施策の方針と具体的な取組」とした方が良いのではないかと。資料2の2ページ「1 計画策定の趣旨」の2段落目に、「…『笠間市教育施策大綱』で示した教育施策の基本的な方向性と施策の方針に対応する具体的な取組を明らかにするため…」とあるが、この「基本的な方向性と施策の方針に対応する具体的な取組」が第4章に書かれていると思うので、表記の仕方を変えた方が良いと思う。

市民の皆様にも私と同じような方が大勢いらっしゃると思うが、教育の専門家でない私はこういった計画を見慣れていないため、そういう視点から見ると、2ページの図は見づらく思う。ここでは「笠間市教育振興基本計画」が水色で表示されているが、他の計画とは違った色にできないのだろうか。例えばオレンジやピンクにする方が他より目立って良いと思うのだが。また、2ページの「2 計画の位置付け及び構造」の「(1) 計画の位置付け」に「…国の『第2期教育振興基本計画』や県の『いばらき教育プラン』…」とあるが、私が見た限りだと、その下の図には今言った2つの計画が含まれていない。図に入っていた方が分かりやすいのではないかと。さらに、自明といえば自明だが、3ページの「3 計画期間」の図では、計画と名前のつくものがいくつか出てくるので、その上の文では「笠間市教育振興基本計画の計画期間は～」であるとか、「本計画期間は～」とした方が分かりやすいと思う。33ページの「3 計画の体系」のところでは、「施策の方針」と「主な取組」が出ているが、後

ろの基本計画の部分を読んでいくと、ここに出ている「施策の方針」と「主な取組」の組み合わせが一致しないところは何箇所かある。もし一致させるなら一致させ、一致させないのであれば、なぜ後ろと違うのかという説明があった方が良くと思う。例えば、「2 学校教育の充実」の「(1) 豊かな心の育成」は、33 ページだと「いじめ・不登校への対応の充実」と「命を大切にす教育の推進」だけが表記されているのに対し、40 ページからの部分では「発達段階に応じた道徳教育の推進」、「郷土への愛着心の育成」、「地域人材を活用した豊かな体験活動の推進」も項目として加わっている。後ろと見合わせると何かが違うなという印象を持ってしまった。

前回、他の委員から、「施策の方針」と「主な取組」とそれぞれの指標が一覧になっていると見やすいのではないか、という意見が出されていたと思う。今回の案では指標の一覧が 92 ページから掲載されているが、もしページの折り込み等ができるのであれば、ページを分割せずに 1 枚にし、33 ページの計画の体系図と指標一覧を組み合わせると見やすいと思った。また、取組はあるが指標がないという部分が 20 箇所ほどあったが、指摘していると時間がかかってしまうので、後でメモしたものをお渡ししようと思う。

委員：資料 2 の 73 ページの写真の下に「かさま陶芸の里ハーフマラソン大会」と文字が入っているが、使われている写真は「県下中学校交歓笠間市駅伝大会」のものになってしまっている。また、105 ページの指標に「スポーツ大会・教室参加者数」があり、「算出方法等」の中にスポーツ大会名が通称で表記されているところがあるが、正式名称の方が分かりやすいと思う。

事務局：こちらで伺っていた限りでは全部で 10 項目くらいご指摘があったと思うが、まずは PDCA サイクルについて。112 ページの「計画の推進にあたって」の 3 行目に「各施策を通じて、所管課が評価シートを作成し、行政内部による事務事業評価を行い…」とある。教育委員会所管の事業については、まずここで評価を行っている。その上でさらに計画の方向性と取組に合致した指標設定についても、外部評価委員会を用いる形で検証と改善を実施しているが、確かにその辺りの説明はないため、分かりづらいかとも思う。言い回しについては内部で検討したい。

第 4 章の「基本計画」については、市の方で同時に策定している「笠間市総合計画」と整合性を図った表現になっており、本計画が総合計画の教育部門に位置付けられていることもあるため、事務局の独断では修正できない。修正するのは難しいと思うが、改めて検討させて頂く。

2 ページと 3 ページの図の色分けについては、確かにこの計画がどこに位置しているのか、色分けする必要があるようにも思うので、工夫して取り入れられないか検討したい。また、2 ページの構造図はあくまで本市での計画の構造を示したものであり、国の計画と県の計画については省略をしている。

33 ページの「施策の方針」と「主な取組」が一致していないということに関してだが、先ほどの 3 ページにも図があった通り、本計画の上位には「笠間市教育施策大綱」がある。大綱を「施策の方針」と「主な取組」として本計画に組み入れるとき、一部修正を加えたこともあり、表示の仕方にばらつきが出てしまったのだと思う。この部分も、今回策定委員会の前に内部の専門部会等を経由していることから、独断で変更はできない。検討させて頂きたい。

また、それ以外の指標等についてもこの場では回答できない。専門部会で協議したのち、必要があれば修正を行う。

委員からご指摘のあった写真については、差し替えさせて頂く。内部でも良い写真がない

か検討しているところである。

委員：前回もお聞きしたかと思うが、資料2の50ページの数値目標、「個別の教育支援計画作成率」の基準値(平成27年度実績)が44.0%となっているが、このデータの出所が県だとすれば、県の特別支援教育の資料ではもっと高い数字が出ていたと思うので、ご確認頂きたい。それから、同じページの「①一人一人の教育的ニーズに応じた指導の推進」が下のところと「②特別支援教育支援員の充実」が文字の大きさが違う気がするのだが、あえてそうしているのか。

事務局：文字については、大きさではなく、フォントが違ってしまっている。修正が漏れてしまっていた。

委員：内容というよりも体裁の話になる。資料2の6ページの「1時代潮流と社会情勢」は「1時代の潮流と社会情勢」とした方が一般的ではないか。他の自治体の計画書も調べてみたが、例えば「時代潮流の変化」としている場合は「時代潮流」のままで良いと思う。しかしここでは「の」を入れるべきと感じたので。それから、71ページや81ページのように、数値目標の数字がズレてしまっているところがある。修正をお願いしたい。

また、先ほど委員から「第4章 基本計画」という表記は変えられないかという意見があったが、つまりそもそも全体が「笠間市教育振興『基本計画』」というものなのに、中身に「基本計画」とあるのは…ということだと思うので、委員のご意見の通り、第4章は「施策の方針と具体的な取組」とした方が良いと思う。

委員長：第4章の表記については、先ほど事務局から回答があった通り、総合計画との兼ね合いがあるため内部で相談しなければならないとのことだった。

事務局：委員から出た50ページの数値目標については、現状の笠間市の数字を担当者レベルではじき出している数字となっており、それが44.0%だと聞いていたので、そのまま記載していた。後で担当に確認したい。

委員の「時代潮流と社会情勢」についてはこれも内部に持ち帰り、必要に応じて修正しようと思う。数値目標のズレは、各委員に配付し終えた後に事務局側でも気づき、今現在修正中である。細かい部分であるため、先ほどの事務局の説明からは省略させて頂いていた。

委員：71ページの写真の下に「文化財公開の様子」とあるが、この写真は文化財公開の様子ではなく、「笠間歴史フォーラム」の際の笠間城跡の見学の際の写真ではないか。計画の本文上は文化財公開と「笠間歴史フォーラム」とは別に書いているのに、これでは矛盾しているように思える。

委員長：名前を残すか、写真を変えるか、というところだと思うが、いかがだろうか。

事務局：ここについても事務局で事前に認識していた。こちらの写真については「歴史探訪ツアー 笠間城跡を歩く」という表現に変えようと考えており、合わせて文化財公開についてはまた別の写真を入れようと思っているところである。

委員長：修正と内部で検討するところは多々あるが、本日は最後の会議であり、計画について採決を頂くということになっている。進めさせて頂いてよろしいか。

委員：(承認)

委員長：それでは採決に入るが、笠間市教育振興基本計画(案)について、一部修正の上、可決することにご異議はないだろうか。

委員：(承認)

委員長：それでは異議なしと認め、笠間市教育振興基本計画(案)について、一部修正の上、可決させて頂く。

4. その他

(1)これからのスケジュールについて

- ・今回委員から出されたご意見及び修正事項については、一覧表にして改めて各委員へお配りしたいと思う。その修正作業が終わり次第、計画(案)を教育委員会に上程し、議決されれば計画として施行される。その後3月の議会の方で計画について報告したい。

5. 閉会

- ・今泉教育長より挨拶。

以上